



日 ASEAN 50周年記念環境ウィーク

一般社団法人 海外環境協力センター 研究員 **高木 晴乃**

2023年8月22～24日にラオス・ビエンチャンで開催された、日ASEAN環境気候変動閣僚級対話を含む「日ASEAN50周年記念環境ウィーク」において、OECCは事務局として、企画準備から先方政府との調整、当日運営に至るまで一貫したイベントの開催支援を行いました。

「環境ウィーク」は、2017年より、環境課題を抱えるアジア各国に対する環境協力の一環として、日本国環境省が各国との政策対話とともに開催してきたイベントで、OECCでは第1回目（2017年、ミャンマー開催）よりこれまで継続して実施運営に携わってきております。

今回は、日ASEAN友好協力50周年の節目であることを記念し、日ASEAN環境気候変動閣僚級対話の開催とともに、ASEAN加盟国10カ国を対象として、ラオス国天然資源環境省、ASEAN事務局、日本国環境省と共催し、気候変動・汚染・生物多様性損失の3つの危機に対処するための日ASEAN新イニシアティブ「日ASEAN気候環境戦略プログラム（SPACE）」の立ち上げ、各国閣僚級バイ会談やレセプション等を通じたトップセールス、シンポジウム・セミナーの開催、企業出展及びビジネスピッチ等、川上から川下までの多様なイベントを一体で行い、環境分野におけるビジネスチャンスの創出に向け、日本とASEAN諸国との協力強化が図られました。



SPACE 発足式において司会を務める
マラビーニ主任研究員

ビエンチャンのナショナル・コンベンションセンター入口ホールに設けた企業展示においては、ラオス及びASEAN各国でのニーズの高い気候変動対策、水環境保全や廃棄物管理等の分野に関連する技術を有する本邦企業やそれらの導入を支援する国際機関などから計18の事業者に出展いただきました。期間中には、西村環境大臣（当時）がラオス国のブンカム天然資源環境大臣をアテンドされて各ブースで出展者と直接交流され、両大臣に対して各社から技術を紹介する機会を得ることも出来ました。また、現地でのレセプションにおいても、本邦出展企業の皆様それぞれより環境技術のプレゼンテーションを行い、ASEAN各国政府代表者に対して広く日本の環境技術をアピールする機会を設けることもできました。

このように、多くの政府閣僚が集う政策対話と一体として開催する環境ウィークの特徴を活かし、相手国政府関係者と本邦企業の皆様とが交流できるような官民連携した取り組みを、今後も積極的に支援していきたいと思っております。今回は、これまでと違い、ASEANという多国間の枠組みに対する協力であり、各国との調整等を含め多くの難しさもありましたが、貴重な経験を得ることができ、OECC自体の活動の幅を大きく広げたとと言えます。今後もアジア諸国との環境ウィーク開催にあたり、参加者の満足度の高いイベントを目指して、日本国環境省のもと、多様な関係者の皆様とともに、より良い形にしていけたらと考えております。引き続き関係する皆様のご協力を賜れますと幸いです。



SPACE 発足式